

染織

美術科 染織コース

TR テキストレポート科目 TW テキスト作品科目 TX テキスト特別科目 S スクーリング科目 GS 芸術学舎科目 WS Webスクーリング科目 必 必修科目 選必 選択必修科目 選 選択科目

※下記で紹介する科目は2017年度開講予定のものです。一部、変更になる場合があります。

染織コース専門教育科目

STEP①

生活の中の布や身近な染料を知り、人と染織との関わりを考える。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
1年次						
染織演習 I-1	植物染料の色を知る／ テキスタイルリサーチ	TW	必	各2		身の周りにある植物染料を採集、煮出して絹布に染める「植物染料の色を知る」、生活の中で常に身近にある布を「テキスタイルリサーチ」で調べ、人と染織との関わりを考える。また「描写—植物を描く」では日々描く習慣を身につけ、「絞り染小作品」では染色による表現を学ぶ。
染織演習 I-2	描写—植物を描く／絞り染小作品	TW	必			
染織 I-1	描写の基礎	S	必	各1		「描写の基礎」では鉛筆の持ち方から、描く対象(モチーフ)との向き合い方(モチーフの見方や自分の姿勢など)を学ぶ。描くことへの苦手意識を払拭し、造形表現の基礎力をつける。染技法の基礎として「絞り染」のデザインと浴衣の制作を行う。
染織 I-2	絞り染の浴衣をデザインする	S	必			
染織 I-3	絞り染の浴衣を染める	S	必			
染織 II-1	染色実験	S	必	各1		「染色実験」では化学染料の基本的な染め方の理論を学び実習を行う。織技法の基礎として「織物の組織」を織機による製織で学び、腰機による浴衣帯の制作を行う。
染織 II-2	織物の組織を知る	S	必			
染織 II-3	腰機で帯を織る	S	必			

STEP②

染技法、織技法の発展の歴史を知り、
装うことや生活を彩ることに込める人の心を考える。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
2年次						
染織演習 II-1	幾何形態のステンシル／ 連続するプリント図案	TW	必	各2		「幾何形態のステンシル」と「連続するプリント図案」で、版を用いた染色方法やデザインを習得。「縞のデザイン」では模様の原因である縞模様を、「緯縞」では糸の一部を括って白く染め残す「緋」技法の作品を制作する。
染織演習 II-2	縞のデザイン／緯縞	TW	必			
染織 III-1	色彩を知る	S	必	各1		「色彩を知る」では色彩を理論的に学び、染技法として「型染」の風呂敷のデザインと染色を行う。
染織 III-2	型染の風呂敷をデザインする	S	必			
染織 III-3	型染の風呂敷を染める	S	必			
染織 IV-1	色彩構成	S	必	各1		「色彩構成」では色と形の関わりを学び、織技法として「経縞(たがすり)」のショールをデザインし、織機で織り上げる。
染織 IV-2	縞のショールをデザインする	S	必			
染織 IV-3	縞のショールを織る	S	必			

染技法または織技法を深め、自分と染織との関わりを考える。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
3年次						
染織演習Ⅲ-1	下図を描く／自由作品	TW	必	各2		スケッチを元に構図を考え、線のみで大きな下図を描く。次に今まで学んできたことを生かし、自由作品に挑戦する。テーマの設定、技法の選択、素材の吟味など、すべて自分の手で行う。また「立体小作品」の制作で複合的な力を付け、「染織産地研究」として興味を持った地域の染織を調査し染織産地の現状と今後を考察する。
染織演習Ⅲ-2	立体小作品／染織産地研究	TW	必			
染織 V-1	ろう染	S	染織 V-1～V-4 より 選必 (4単位)	各2		「ろう染」「友禪のふくさを染める」「綴織の壁掛けを織る」「絹の裂を織る」の中から自分の深めていきたい2科目を選択必修。 1、2年次の基礎を踏まえ、染織作品製作の力を付ける。 ※卒業制作で着物を織る場合はV-3とV-4を履修
染織 V-2	友禪のふくさを染める	S				
染織 V-3	綴織の壁掛けを織る	S				
染織 V-4	絹の裂を織る	S				
染織 V-5	沖繩産地研究	S	染織 V-5～V-8 より 選必 (2単位)	各1		「沖繩産地研究」「繊維素材の立体造形」「フェルトメイキング」「スクリーンプリントの手ぬぐいを染める」の中から自分の深めていきたい2科目を選択必修。産地での見学や体験、素材と技法から導き出される立体造形、スクリーンプリント作品などを制作する。
染織 V-6	繊維素材の立体造形	S				
染織 V-7	フェルトメイキング	S				
染織 V-8	スクリーンプリントの手ぬぐいを染める	S				

自分にとっての染、織をかたちにする。
染織を通して社会と関わっていく方法を考える。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
4年次						
染織演習Ⅳ	卒業制作計画書／ポートフォリオ	TX	必	4		卒業制作に向けて、まずは前期に試作を行う。そのための計画書の作成では、作品のテーマや表現技法、素材、画面の構成などを考える。また、自分の作品集「ポートフォリオ」制作では、見やすく美しい編集の方法や、自己アピールの方法を知る。
卒業制作		S	必	6		4年間の集大成として各自設定したテーマにもとづいて作品制作を行う。京都の工房見学を行い、染織産地としての京都を知る。

コースからのスクーリング開講に関するお知らせ

京都を中心に開講します。また、1～3年次の一部の必修科目および選択必修科目については、東京で開講するものがあります。4年次の科目(卒業制作)は京都のみの開講となります。